

# 一般質問

- ① 防災計画の進み具合
  - ② 備蓄品
  - ③ 避難所の体制
  - ④ 自主防災組織の災害復旧用品の注文リスト
  - ⑤ 災害時の要援護者対応
  - ⑥ 住民への啓蒙
- 東海地震・東南海地震の海溝型地震の他に活断層による内陸型地震など大規模地震が予想される。町は東南海・南海地震の対策推進地域に指定されている。対策を聞きたい。



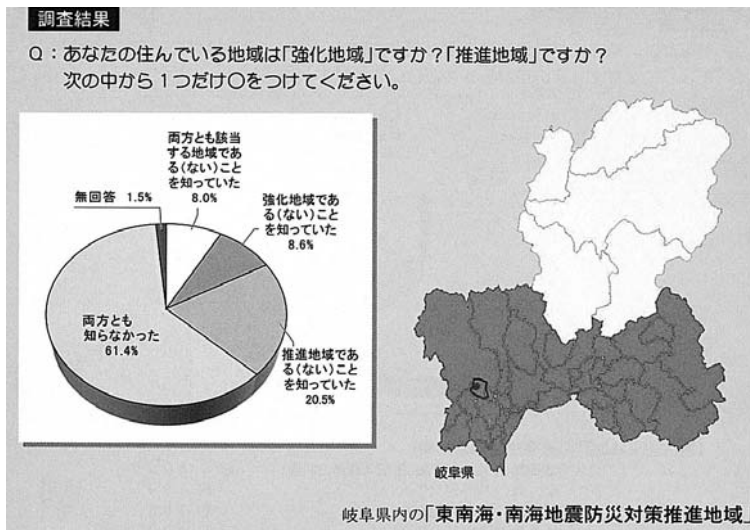
倉地幸子 議員

## 大地震に備えて 防災対策の徹底を！

自主防災組織を機能させたい  
最低でも3日間の食糧は自分で確保を！

### 町長

- ① 過去2回、地域防災会議で大地震への対策や防災全体計画の協議を行った。
- ② 町内7ヶ所の防災備蓄倉庫にアルファ米約8千食、乾パン約2千食、保存水約2万ℓ。最大避難者数の1日分



阪神・淡路大震災による室内の状況

- ③ 第一次避難所・町内15ヶ所の公共施設が避難所。
  - ④ 県想定の前蓄モデル品により上限20万円。3分の2を町が補助。防災倉庫も導入。
  - ⑤ 民生児童・福祉委員が毎年、要援護者を把握。災害マップは県内6市町村しかない状況で当町はいち早く対応。
  - ⑥ 自主防災組織の充実。安心見守り隊による平常時の見守り、災害時の活動をお願いする。
- ト・担架・仮設トイレ・ジャッキ・浄水器も。を確保。毛布・青シート・担架・仮設トイレ。

## 子供農山漁村交流プロジェクトを 地域振興に生かしては？

町が農業で元気になり  
教育に貢献できるのはよいことだ

老人・乳幼児など災害弱者の備蓄品の再考を。図上訓練・地震の講演会など啓蒙活動も必要。

### 町長

今後は具体的に進めたい。  
(※詳細は議事録を)



防災倉庫

今後5年間で全国の小学生に農山漁村での長期の宿泊体験活動を通して教育活動を展開すると文科省・総務省・農林水産省が発表。お茶や梅など池田の特色ある農産物や自然豊かな町をPRする上でもチャンスだ。若い職員が活躍する機会を与えていただきたい。

### 町長

豊かな自然も研修施設もある。町が農業でも元気になり、子供達の育成に貢献できるように施策を進めたい。